

平成 25 年 1 月 31 日

関係各位

名古屋大学大学院生命農学研究科
応用分子生命科学専攻
専攻長 吉村 徹

名古屋大学世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)「トランスフォーマティブ生命分子研究所」特任准教授の公募について

謹啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

下記の通り、名古屋大学世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)「トランスフォーマティブ生命分子研究所」の特任准教授を公募いたします。つきましては、貴機関の関係各位に周知方ご高配いただきたくお願い申し上げます。なお、貴機関以外でも適任の方をご存知の場合は、その方にお伝えいただければ幸いです。

記

1. 選考方針

WPIトランスフォーマティブ生命分子研究所では、生命科学・技術を根底から変える革新的機能分子「トランスフォーマティブ生命分子」を生み出すことを使命としている。今回の特任准教授の公募では、脊椎動物の季節感知システムや体内時計などに関する研究を通して、動物の生産性の向上や創薬を目指すとともに、新しい研究領域を開拓しうる人物を求めます。また、上記およびその関連分野において優れた業績を有し、名古屋大学大学院生命農学研究科および農学部における教育と管理運営に熱意と責任感をもち、協調性をもって携われる人が望まれます。

2. 応募方法

(1) 応募期限

平成 25 年 3 月 8 日 (金) 必着 (書留・宅配便以外は受理いたしません)

(2) 応募先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院生命農学研究科 応用分子生命科学専攻

WPI トランスフォーマティブ生命分子研究所特任准教授選考委員会

委員長 吉村 崇

(問い合わせ等は e-mail にて委員長まで takashiy@agr.nagoya-u.ac.jp)

3. 応募に必要な書類

- (1) 応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、e-mail アドレスなどを含む）
- (2) 履歴書
- (3) 研究業績リスト（原著論文、総説、著書など）
- (4) 論文、著書などの別刷り（主要なもの 10 編程度、コピーでも可、これらは返却いたしません）
- (5) 業績の説明（A4 判、2,000 字程度、研究業績リスト番号を引用のこと）
- (6) 研究に関する抱負（A4 判、2,000 字程度）
- (7) 教育に関する抱負（A4 判、1,000 字程度）
- (8) 過去 10 年間の研究資金獲得状況（科学研究費補助金などの競争的資金。代表と分担に別けて、名称と金額を明記）
- (9) 応募者について照会できる方 2 名の氏名と連絡先
- (10) 社会・学協会活動等の状況
- (11) 上記の（4）を除く、（1）～（10）の提出書類を 1 つの PDF ファイルにまとめ、紙媒体とともに CD、USB メモリ等で、提出してください。

4. その他

- (1) 選考の過程で面接などをお願いすることがあります。
- (2) 当研究科では、男女共同参画推進に積極的に取り組んでいます。
- (3) 選考の過程については原則として研究科内公開ですが、個人情報保護法は遵守されます。
- (4) JREC-IN にも掲載していますので、ご参照ください。

【業務内容】

吉村崇教授と連携して、世界トップレベル研究拠点(WPI)としてスタートした「トランスフォーメティブ生命分子研究所(ITbM)」において、脊椎動物の季節感知システムや体内時計などに関する研究を通して、動物の生産性の向上や創薬を目指す研究を行っていただきます。また、名古屋大学大学院生命農学研究科および農学部における教育と管理運営にも携わっていただきます。

赴任後は、下記の科目の一部をご担当いただくことになります。

大学院：生命農学本論、動物遺伝・生理学基礎講義、動物遺伝・生理学基盤実験、応用遺伝・生理学特論 I、応用遺伝・生理学演習 I、応用遺伝・生理学輪講 I

学 部：動物生理学 1、細胞工学、基礎セミナー、理系教養科目、理系基礎科目、資源生物科学基盤実験実習、資源生物科学実験実習、専門セミナー、卒業論文

【待遇】

任 期：5 年任期、評価を経て再任あり

給 与：名古屋大学規定に基づき支給（年俸制）